

シリーズ

関西大学堺キャンパス市民講座

笑いの総合科学(第Ⅰ期)～「笑い文化」～

笑いは心身の健康のシンボル、ユーモアは人類文化の精華です。関西大学ではこのような視点から、第Ⅰ期「笑い文化」、第Ⅱ期「笑いのサイエンス」、第Ⅲ期「笑いを作る、笑いを測る」の三期からなる講座を開催いたします。目からウロコの笑い学講座。一緒に、笑いながら、笑いについてまじめに考えましょう。

第1回 5月29日(日) 14:00～15:30

笑いの花咲く国へ ～日本の笑い祭り～

関西大学人間健康学部教授 森下 伸也



日本には笑い祭りという、神様に笑いを奉納する世界にも珍しい行事がいくつもある。その代表的なものを愉快的映像で見ながら、笑いに込めた日本人の格別の思い入れを探り、宗教という角度から日本の笑い文化の特徴を考える。

第2回 6月4日(土) 14:00～15:30

エスニック・ジョークは 社会の温度計

前大分大学教授 安部 剛



エスニック・ジョークは、ある一つの民族集団の特徴を、遊び心をもってユーモラスな談話にして笑うユーモアである。愚か者を笑ったジョーク、ジューイッシュジョーク等からジョークを語る側と語られる側の歴史と文化を探る。

第3回 6月12日(日) 14:00～15:30

異文化コミュニケーション におけるユーモアの役割

文京学院大学准教授 大島 希巳江



ユーモアは、コミュニケーションの潤滑油として有効である。特に異文化接触の場面においては、文化摩擦が起こりやすい環境であるからこそユーモアが重要となっている。性別差、年齢差、地域差、様々な異文化に介在するユーモアを見る。

第4回 6月18日(土) 14:00～15:30

能・狂言と日本の笑い

関西大学文学部教授 関屋 俊彦



狂言の成立は建武元(1334)年という。しかし、能と共に猿楽に含まれる芸能を遡ると散楽にまで至り、中国どころかローマ帝国にまで視野を及ぼすこととなる。そこには笑い音楽が満ちていた。《翁》面が笑っているのとつながるのではないか。

第5回 7月3日(日) 14:00～15:30

笑い「純粹経験」 ～笑いの力について～

関西大学名誉教授 井上 宏



近年、医学的実験によって、笑いが「身体」に良い影響を与えることが明らかになってきた。笑いは同時に「心」にも影響を与えるが、その効果を測定するのは難しい。「笑うと元気が出る」と言われる心的過程について考える。

■ 受講時の注意事項 ■

- ① 「シリーズ・笑いの総合科学」は第Ⅰ期～第Ⅲ期までを予定しております
- ② 「シリーズ・笑いの総合科学」では、第Ⅰ期～第Ⅲ期のすべての講座を通して『笑いを科学する』(新曜社)をテキストとして使用いたします
- ③ テキストは各期の第1回目の講座にて教室で販売いたします(※定価 2,940 円を 2,500 円にて販売)

場 所 : 関西大学堺キャンパス

南海電鉄高野線「浅香山」駅下車 徒歩1分
(自動車・バイクによる入構はできません。)

対 象 : 堺市民、関西大学学生、教職員、その他

参加費 : 無 料

※ 申込方法は裏面をご参照ください。

お問合せ: 関西大学堺キャンパスグループ
〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1
072-229-5022(代表)
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/



■ 講師プロフィール ■

<p>第1回 森下 伸也 (もりした しんや)</p> <p>長崎大学、ウィーン大学、金城学院大学などをへて現職。専攻は社会学、ユーモア学。日本笑い学会会長、日本ホスピタル・クラウン協会理事。著書に、『ユーモア社会学』、『もっと笑うためのユーモア学入門』、『逆説思考』など。</p>	<p>第2回 安部 剛 (あべ ごう)</p> <p>カンザス大学で Ph.D.取得後、広島大学、徳島文理大学、大分大学などで教鞭をとる。専攻は文化人類学。日本笑い学会理事、国際ユーモア学会評議員。日本を代表する国際派のユーモア研究者。著書に『エスニック・ジョーク』など。</p>
<p>第3回 大島 希巳江 (おおしま きみえ)</p> <p>コロラド州立大学卒業、国際基督教大学で Ph.D.取得。専攻は社会言語学。国際平和のための英語落語を、世界中で公演する「ミス英語落語」。『英語でしゃべらナイト』ほかテレビ出演多数。著書に、『日本の笑いと世界のユーモア』など。</p>	<p>第4回 関屋 俊彦 (せきや としひこ)</p> <p>長年、関西大学で教鞭をとる。文学博士。専攻は日本中世文学。能狂言の研究で知られ、能楽学会設立に参画。著書に、『狂言史の基礎的研究』、『天理本狂言六義』など。「俵を重ねて面々に、楽しうなるこそ目出たけれ」がモットー。</p>
<p>第5回 井上 宏 (いのうえ ひろし)</p> <p>テレビ局勤務をへて関西大学で教鞭をとる。専攻は情報メディア学、笑い学。日本笑い学会初代会長、大阪府立上方演芸資料館館長、文化庁芸術祭審査委員、芸術選奨審査委員などを歴任。上方漫才大賞審査委員長。著書に、『笑いの力』など。</p>	

(申込方法)

FAX またはハガキにて、①郵便番号・住所 ②お名前・ふりがな ③年齢 ④電話番号 ⑤希望される講座の開催日をご記入の上、締切日必着でお送りください。講座は1つからでもお申込み頂けます。また、複数の講座を一括でお申し込み頂いても結構です。講座開催の3日前までに聴講券を送付いたしますので、当日会場までご持参ください。なお、当日欠席される場合のご連絡は不要です。

(定員) 150 名。応募者多数の場合は、抽選にて決定。当選者・落選者ともに通知いたします。

(宛先) 関西大学堺キャンパス「シリーズ・笑いの総合科学」係

(FAX) 072-229-5082

(住所) 〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1

FAX 送信用紙

関西大学堺キャンパス シリーズ・笑いの総合科学 (第I期)

072-229-5082

住所 〒 —	
ふりがな 氏名	電話番号 — —

参加	開催日	テーマ・講師	申込締切
	5月29日(日)	笑いの花咲く国へ～日本の笑い祭り～ (森下 伸也)	5月13日(金)
	6月4日(土)	エスニック・ジョークは社会の温度計 (安部 剛)	5月20日(金)
	6月12日(日)	異文化コミュニケーションにおけるユーモアの役割 (大島 希巳江)	5月27日(金)
	6月18日(土)	能・狂言と日本の笑い (関屋 俊彦)	6月3日(金)
	7月3日(日)	笑いと「純粹経験」～笑いの力について～ (井上 宏)	6月17日(金)

※ 受講を希望される日の「参加」欄に○をご記入ください